

高齢者による交通事故が増えています！

■令和4年の交通事故

	荒川区	23区平均
事故件数(A)	323件	910件
高齢者が関与した事故件数(B)	138件	289件
高齢者事故関与率(B/A)	42.7%	31.8%

荒川区内で起きた交通事故は、事故件数は少ないですが、高齢者の関与率が23区平均より**10ポイント以上**高く、23区で**ワースト1位**です。



高齢者事故の主な原因と、交通事故を防ぐには

原因 安全不確認

裏路地ほど危険です。自分が交通違反をしていなくても、交通事故にあう場合があります。

自転車で進行の際は、**一時停止**や**徐行**により、**左右確認**を行いましょう。



原因 横断禁止場所での横断

子どもが見ています。必ず横断歩道を渡りましょう。

車は停まってくれるもの**と思わない**でください。横断歩道でも**車両がきちんと止まったか確認**してから渡りましょう。



原因 身体機能の変化

車道から歩道に上がる際の**段差に注意**してください。

単独で電柱にぶつかるなどの事故が増えています。自転車を運転する際には、**ヘルメット、反射材、手袋、肘・膝カバー**などを身に付けましょう。



自転車の運転に不安があったら…

区が定期的に行っている自転車安全利用講習会等で学びましょう。

電動アシスト自転車の講習会も開催しており、多くの高齢者が参加しています。

荒川区 自転車講習会 [検索](#)

